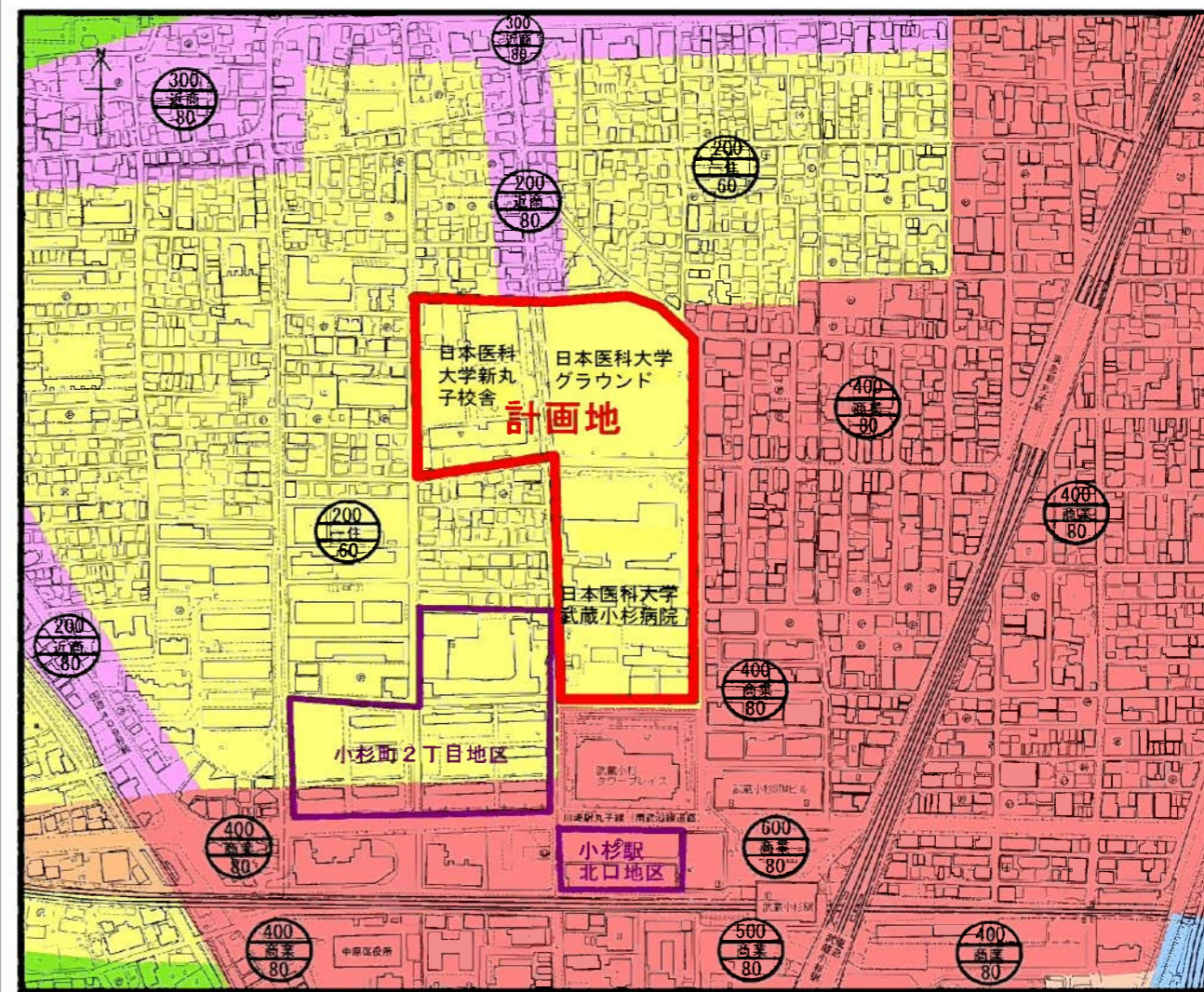


# 位置図及び用途地域図

1 位置図



2 用途地域図



- : 商業地域
- : 近隣商業地域
- : 第一種住居地域
- : 工業地域
- : 第一種中高層地域

## ■ 都市計画マスタープランの位置付け

- 都市計画マスタープランは、都市計画法第18条の2に基づく「市の都市計画に関する基本方針」として定めるものです。
- 議会の議決を経て定められた「基本構想」と県が定める「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」即して定めます。
- 個別な細かな計画事業の内容そのものを直接定めるものではありませんが、今後、市が定める都市計画は、この都市計画マスタープランに即して定めることとなります。
- 本市の都市計画マスタープランは、3層構成としており、「まちづくり推進地域別構想」は、3層目にあたる、最も身近な地域における都市計画の基本方針として位置付けています。

## ■ 策定の経緯

### 1 「都市計画マスタープラン（全体構想・区別構想）」（平成19年3月策定）

- ・各区の住民の代表者等によって構成される「都市計画マスタープラン検討委員会」を設置し、各区ともおおむね1年半から2年の検討を経て、「区民提案書」を作成。
- ・「区民提案書」をふまえ、都市計画審議会下部組織である「都市計画マスタープラン小委員会（学識経験者、市民委員で構成）」から助言を得て素案を作成。
- ・素案説明会、素案縦覧、パブリックコメント、案の縦覧等を行い、市民意見を募集。
- ・都市計画審議会への諮問・答申を経て策定。

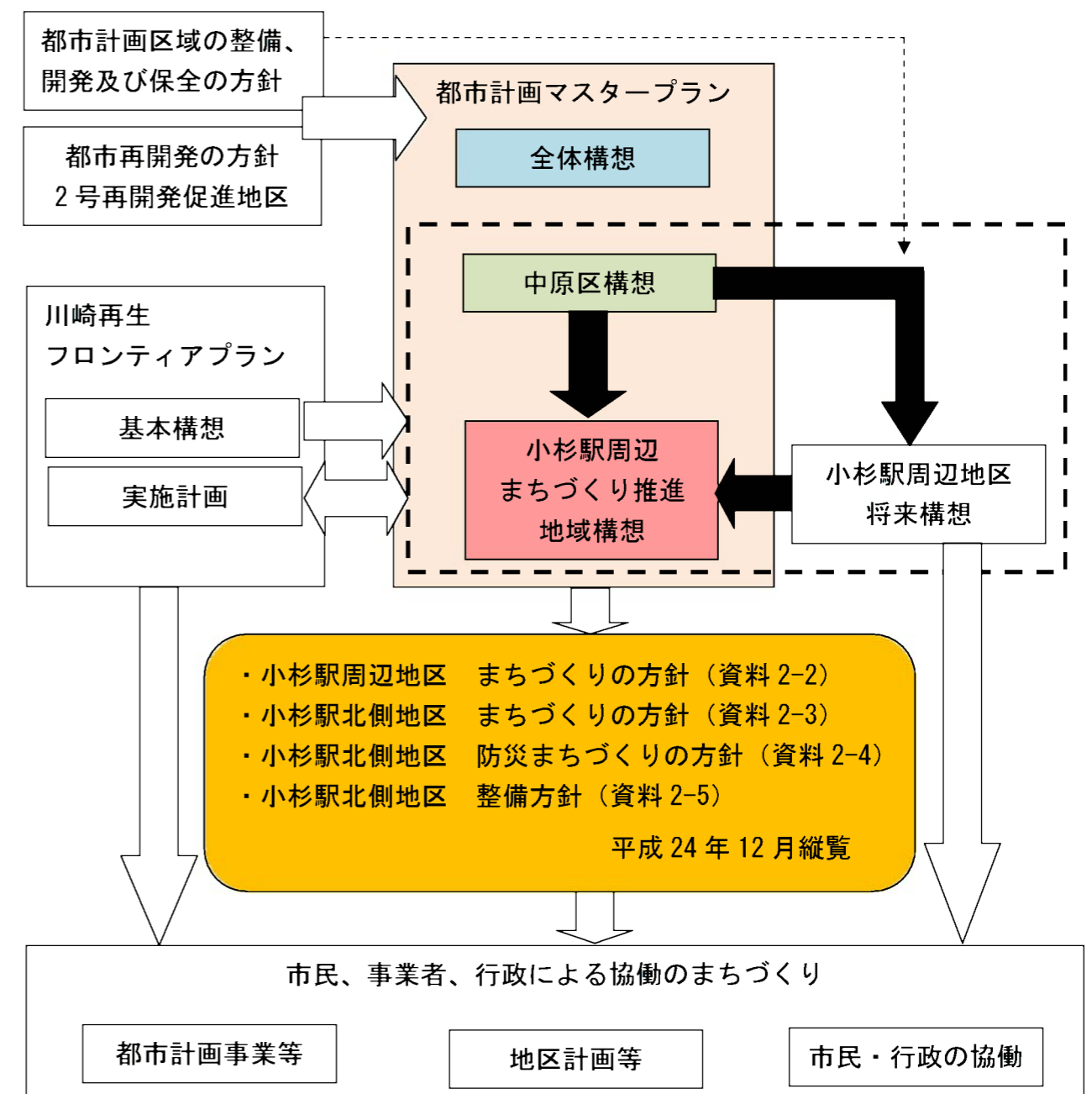
### 2 「小杉駅周辺地区将来構想」（平成20年2月策定）

- ・学識経験者（5名）及び町内会連絡協議会会長などの地域代表者（2名）で構成する「将来構想検討委員会」を設け、まちづくりの基本コンセプトや方針、さらには都市構造のあり方などを検討
- ・パブリックコメント手続き（平成19年12月）により市民意見を募集。
- ・川崎市議会まちづくり委員会への報告（平成19年11月及び平成20年2月）を経て策定。

### 3 「小杉駅周辺まちづくり推進地域構想」（平成21年3月策定）

- ・「都市計画マスタープラン小委員会」の審議を経て素案を作成。
- ・素案説明会の開催及び素案縦覧とあわせた意見募集（平成20年9月）、案の縦覧とあわせた意見募集（平成20年12月）を実施。
- ・都市計画審議会への諮問・答申を経て、まちづくり委員会及び中原区民会議への報告（平成21年2月及び3月）を行った上で策定。

## ■ 都市計画マスタープランの構成

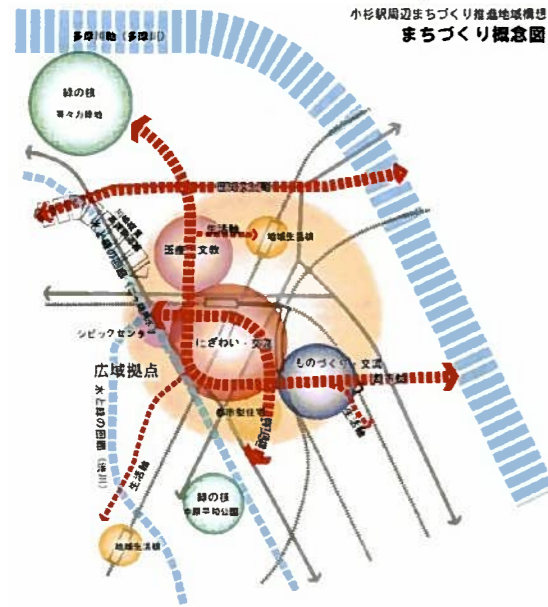


## 【小杉駅周辺地区のまちづくり】

### ■まちづくりの基本コンセプト

“交流”と“にぎわい”があふれるヒューマンなまちづくり

「歩いて楽しいまち」「環境共生型のまち」  
「豊かに暮らせるまち」



### ■まちづくりの基本方針

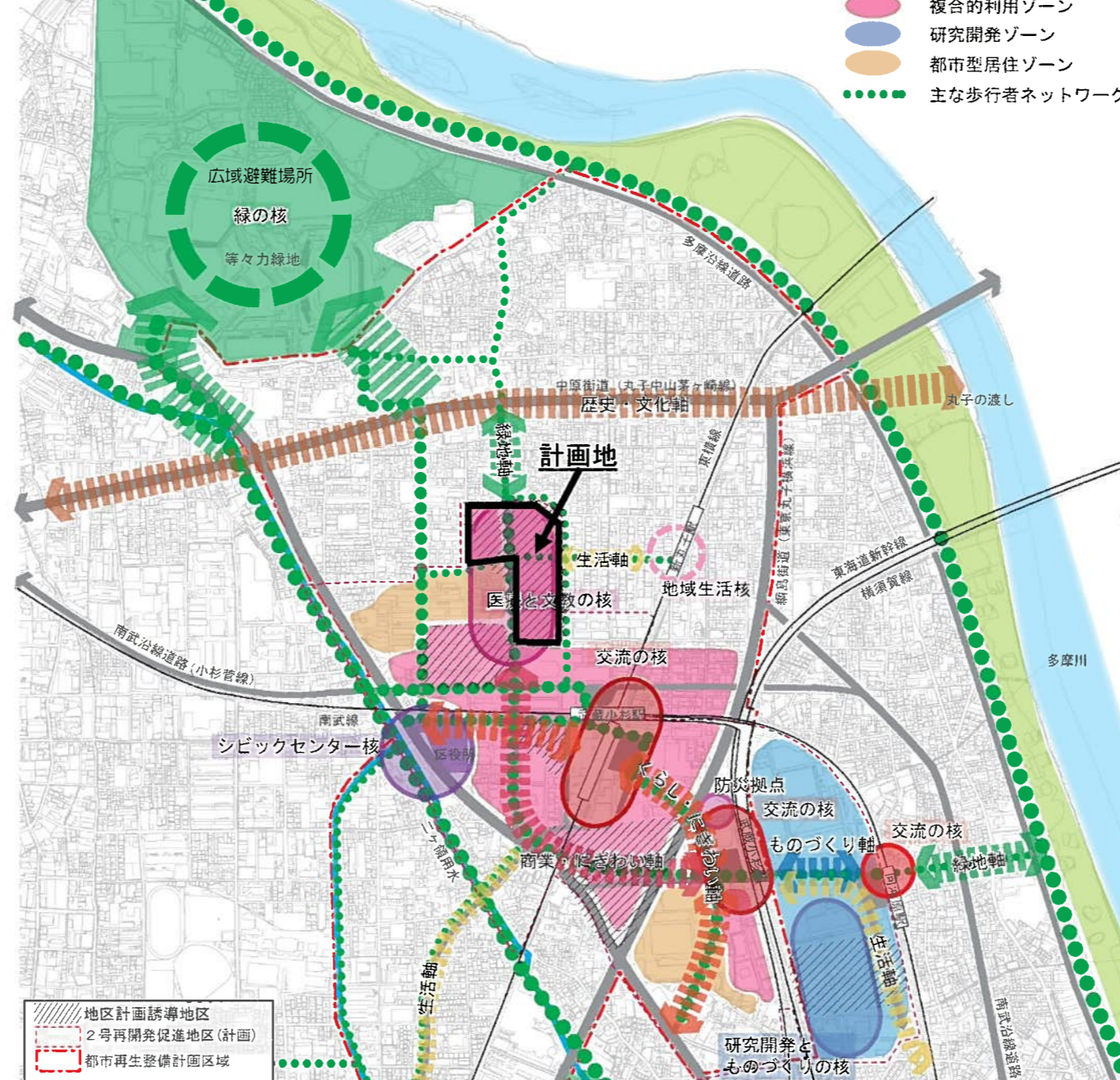
・多様な核の集積とネットワーク化による魅力ある市街地形成

・駅を中心に多様な都市機能がコンパクトに集積した、歩いて暮らせるまちづくり

・等々力緑地や多摩川、ニヶ領用水とのネットワーク化  
・緑豊かなパブリックスペースの実現

・エリアマネジメントの推進  
・地区計画等の活用による官民協働のまちづくり

図I-8 小杉駅周辺まちづくり推進地域構想将来都市構想図



#### 【土地利用の方針】

土地の計画的な高度利用を推進し、質の高い魅力あるまちづくりを創造

- ①複合市街地の形成によるにぎわいのあるまち
- ②市民の文化・交流の拠点としての機能向上
- ③多様な世帯が暮らしやすい良好な環境を備えた都市型の住宅市街地の形成
- ④地区計画等を活用した計画的な土地利用の誘導

#### 【交通体系の方針】

誰もが使いやすい安全でユニバーサルなまちづくり

- ①交通広場の整備拡充や交通アクセス環境の改善
- ②地区内の骨格となる補助幹線道路や生活道路の整備
- ③安全で快適な歩行者空間の形成
- ④安全で快適な自転車利用環境等の確保

#### 【都市環境の方針】

エコ化による持続可能なまちづくり

- ①豊かな緑をつなぐ緑のネットワークの形成
- ②にぎわいのある街なみ形成
- ③安全で快適なうるおいのある空間の創出
- ④環境負荷の軽減と循環型のまちづくり

#### 【都市防災の方針】

災害に強いまちづくり

- ①避難地や防災空間の確保
- ②幹線道路等における防災機能の確保
- ③耐震化・不燃化の推進

- 複合的利用ゾーン
  - ・広域的な拠点性の高い商業・業務、サービス、文化、交流、医療・福祉、居住機能が複合した市街地
- 都市型居住ゾーン
  - ・優良な都市型住宅と生活サービス、地域交流機能などが立地する地区
- 医療と文教の核
  - ・大学病院を中心に医療、教育、都市型居住、商業が複合した高度医療福祉拠点
- 商業・にぎわい軸
  - ・通りに面して開放性の高い店舗や人々が交流できる施設を連続的に配置したにぎわいのある街並み形成
  - ・沿道の店舗等と一体化した歩行者空間の形成
  - ・高層部の壁面後退による上空の開放感の創出

新たなまちづくり課題への対応 超高齢化、人口減少が進展する中でも誰もが暮らしやすい生活環境の確保

#### コンパクトな都市構造の確立

- ・医職住近接化による、高齢者や子育て支援に配慮した、歩いて暮らせる集約型のまちづくりの実現

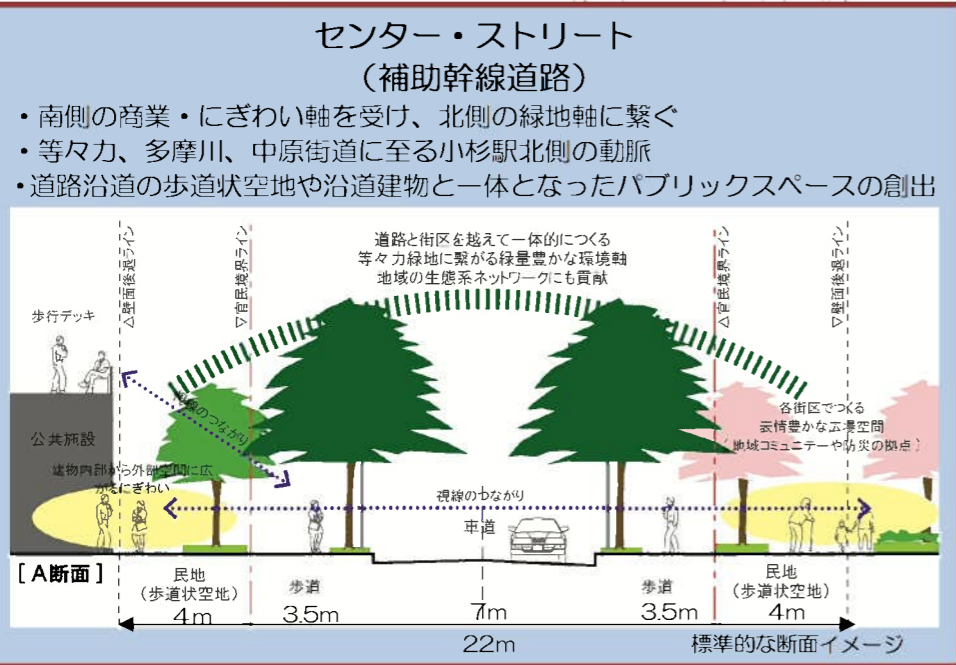
#### 総合的な防災力の向上

- ・東日本大震災の教訓を踏まえた新たな防災まちづくりの推進

#### スマートシティに向けたまちづくり

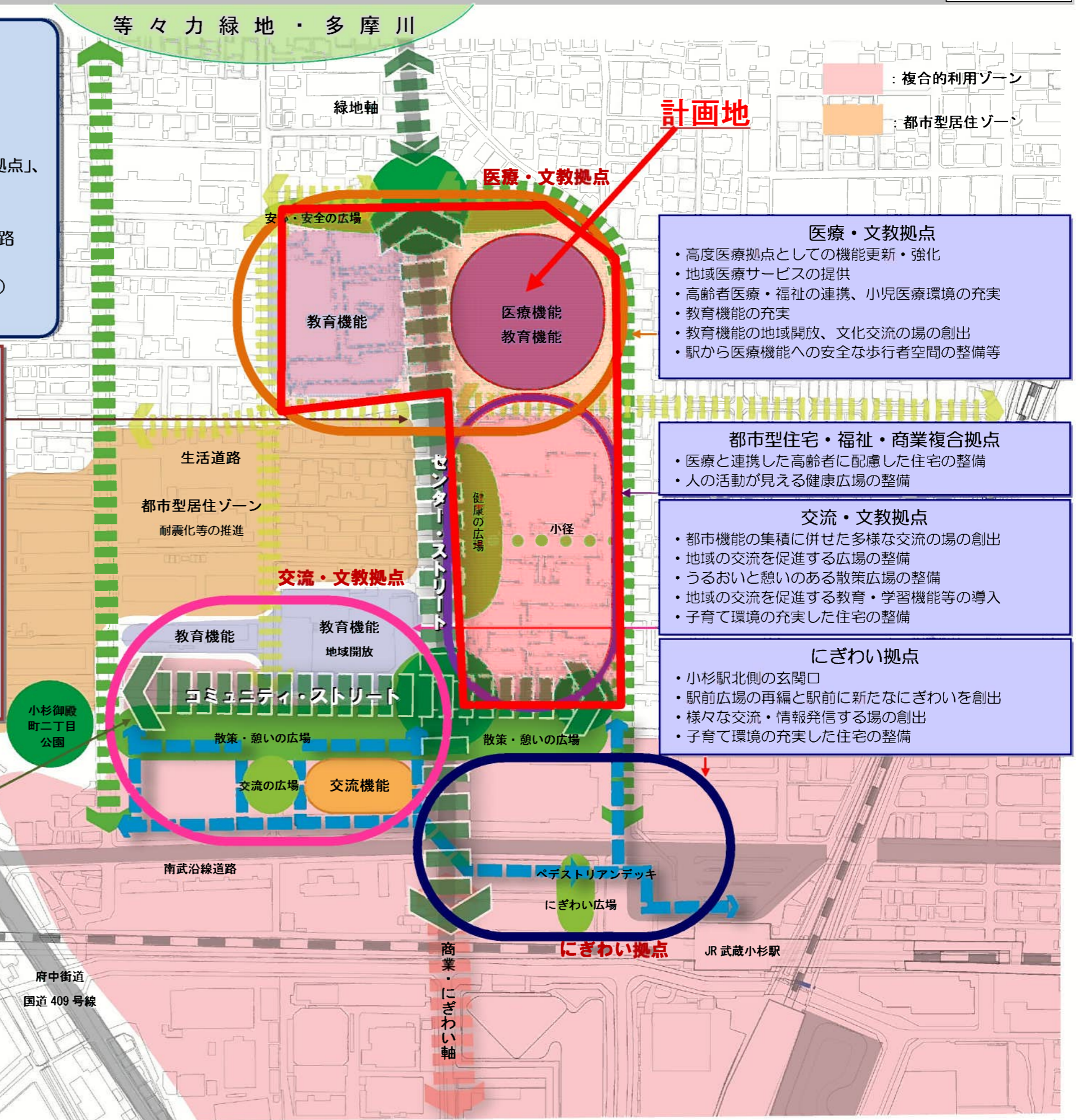
- ・低炭素化、省エネルギー等、環境配慮型施設の導入、促進
- ・ICTを活用した暮らしやすいまちづくり

- 医療と文教の核の形成
  - ・医療機能の充実、教育機能の充実
- 多様な世代が居住する優良な都市型住宅の整備
- 北側のまちの骨格形成
  - ・北側の4つの拠点とそれをつなぐ“通り”により、都市の骨格を形成
  - 4つの拠点…「医療・文教の拠点」、「交流・文教の拠点」、「にぎわいの拠点」、「都市型住宅・福祉・商業複合拠点」
  - 2つの通り…
  - センター・ストリート：等々力、多摩川に繋がる地区内の主要道路
  - コミュニティ・ストリート：地区内の主要な歩行者道路
  - ・2つの通りに沿って、うるおいある豊かな空間をつくる（広場・緑地）



- ### コミュニティ・ストリート (主な生活道路)
- ・補助幹線道路と交差し、公園と広場をネットワークする北側の散策路
  - ・北側の落ち着き空間と南側のにぎわい交流空間との境界、バッファゾーン
  - ・道路沿道の広場や公開空地と一体となった緑の空間

- ### 通りに沿った広場の適正配置
- ・うるおいと憩いの場の創出、地域交流イベントの場の創出等、2本の通りに沿って、緑豊かな広場、空地等のオープンスペースを設置
  - ・各地区の特性に配慮した広場の配置



計画地

- ### 医療・文教拠点
- ・高度医療拠点としての機能更新・強化
  - ・地域医療サービスの提供
  - ・高齢者医療・福祉の連携、小児医療環境の充実
  - ・教育機能の充実
  - ・教育機能の地域開放、文化交流の場の創出
  - ・駅から医療機能への安全な歩行者空間の整備等

- ### 都市型住宅・福祉・商業複合拠点
- ・医療と連携した高齢者に配慮した住宅の整備
  - ・人の活動が見える健康広場の整備

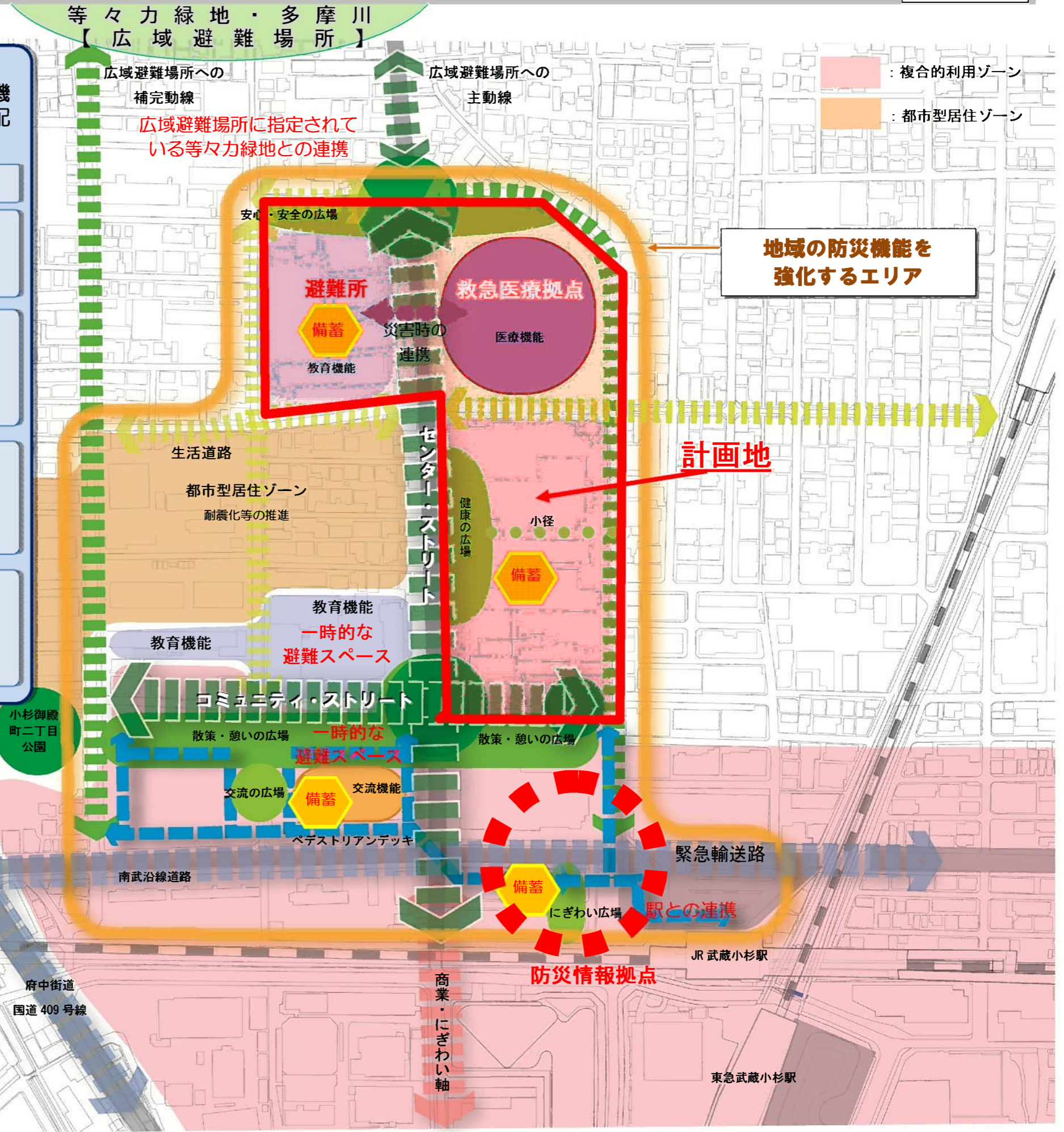
- ### 交流・文教拠点
- ・都市機能の集積に併せた多様な交流の場の創出
  - ・地域の交流を促進する広場の整備
  - ・うるおいと憩いのある散策広場の整備
  - ・地域の交流を促進する教育・学習機能等の導入
  - ・子育て環境の充実した住宅の整備

- ### にぎわい拠点
- ・小杉駅北側の玄関口
  - ・駅前広場の再編と駅前に新たなにぎわいを創出
  - ・様々な交流・情報発信する場の創出
  - ・子育て環境の充実した住宅の整備

## 【地域の防災機能を強化するエリア】

地区として耐震化、不燃化を進めるとともに、救急医療機能や避難所機能、一時的な避難スペースなどの防災機能を配置し、周辺住民が安全に、避難できる空間を確保する。

- 災害時の救急医療機能の確保
- 避難所の確保
  - ・地域住民や帰宅困難者にも対応した避難所等の整備
  - ・地域向けの防災備蓄倉庫や災害時対応トイレの整備
- 避難路の確保
  - ・広域避難場所（等々力緑地、多摩川河川敷）への動線の確保
  - ・防災に資する緑のネットワークの形成
  - ・道路や歩道状空地、広場等の緑化推進による延焼防止
- 防災情報拠点の形成
  - ・駅の近接地において災害情報の発信拠点を形成
  - ・小杉駅周辺の避難施設と連携した避難者対応の推進
  - ・放送メディアによる防災情報発信
- 建物の防災力強化
  - ・計画的な再開発による街区全体の防災力向上
  - ・既成市街地の耐震化等による防災力強化
  - ・備蓄倉庫及び防災用トイレ等の整備の促進



## 大西学園地区

医療と文教の街にふさわしい教育機能の更新と地域開放

- 教育環境の充実
  - ・校舎の建替えによる機能更新
  - ・講堂（音楽ホール）等地域に開かれた教育機能の整備
- 防災力の向上
  - ・グラウンド等の避難場所としての活用
- 環境への配慮
  - ・建物における省エネルギー等の配慮
- 都市基盤施設の整備
  - ・補助幹線道路の整備
  - ・歩道状空地の整備による歩行者空間の確保

## コンパクトな都市構造の確立

- ・医職住近接化による、高齢者や子育て支援に配慮した、歩いて暮らせる集約型のまちづくりの実現

## 総合的な防災力の向上

- ・東日本大震災の教訓を踏まえた新たな防災まちづくりの推進

## スマートシティに向けたまちづくり

- ・低炭素化、省エネルギー等、環境配慮型施設の導入、促進
- ・ICTを活用した暮らしやすいまちづくり

## 日医大地区

高度医療福祉拠点・医療連携施設

- 医療文教の核となる高度医療福祉機能の集積
  - ・高度医療、周産期医療、高齢者医療、救命救急などの対応の強化及び認知症診断・治療機能の充実
  - ・建替えによる医療機能の更新
  - ・医療と連携する教育機能、福祉機能等の導入
  - ・医療と連携した高齢者に配慮した優良な都市型住宅の整備
  - ・イダイ・モールと連携した商業施設の導入
- 防災力の向上
  - ・災害時の救急医療の中核となる医療施設
  - ・地域向け防災備蓄倉庫、防災用トイレの整備
  - ・建物の耐震化による防災力の向上
- 環境への配慮
  - ・等々力緑地、多摩川へ繋がる、うるおいのある緑化空間整備
  - ・建物における省エネルギー等の配慮
- 都市基盤施設の整備
  - ・地区内の道路整備
  - ・歩道状空地の整備等、歩行者空間の確保
  - ・人の活動が見える健康広場の整備

## 小杉町二丁目地区

多様な歩行者空間の形成による回遊性、交流拠点の形成

- 都市機能の集積した複合市街地の形成
  - ・駅とデッキで直結する文化交流の場の創出
  - ・コンベンション施設の導入による高度な交流機能の整備
  - ・沿道利用型の商業業務機能の導入
  - ・子育て支援に配慮した優良な都市型住宅の整備
  - ・地域交流を促進する教育・学習機能等の導入
  - ・認可保育所等の整備
  - ・地域向けの集会所の整備
- 防災力の向上
  - ・コンベンション施設や広場の避難スペースとしての活用
  - ・地域向け防災備蓄倉庫、防災用トイレの整備
  - ・建物の免震化による防災力の向上
  - ・建物の防災性の向上による、建物内自立生活の確保
- 環境への配慮
  - ・うるおいと憩いのある緑化空間整備
  - ・建物における省エネルギー等の配慮
  - ・スクルトンインフィル住宅による建物の長寿命化

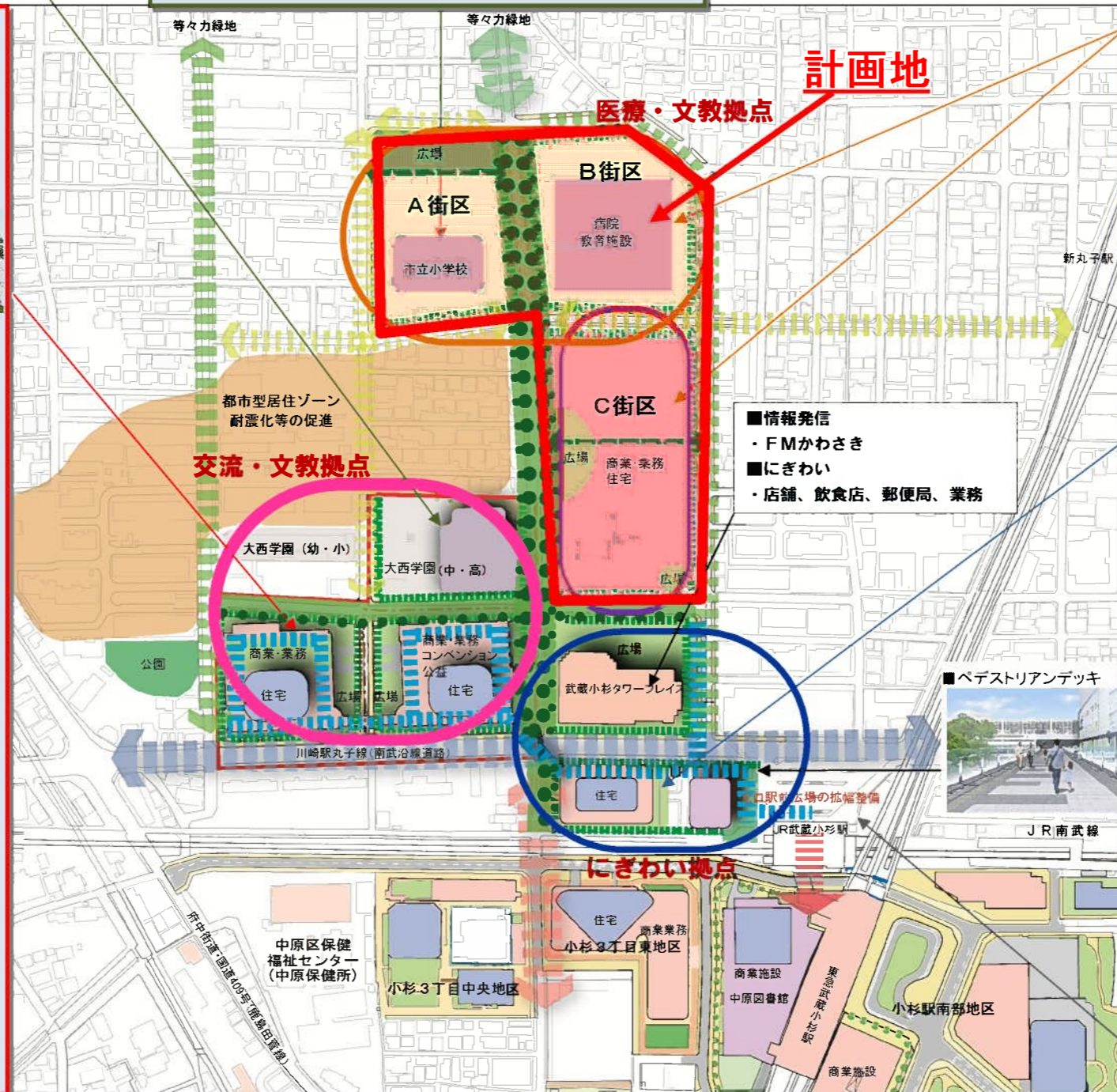


- 都市基盤施設の整備
  - ・地区内の道路整備
  - ・ペDESTリアンデッキの整備、歩道状空地の整備等、歩行者空間の確保
  - ・地域の交流を促進する広場の整備
  - ・うるおいと憩いのある散策広場の整備
  - ・公共的駐輪場の整備

## 市立小学校

医療と文教の街にふさわしい教育機能の充実

- 良好な教育環境の整備
- 災害時の避難所の確保（病院との連携）



## 小杉駅北口地区

小杉駅北側の玄関口としての都市機能強化

- 南側のまちづくりとの連携によるにぎわいの創出
  - ・商業・業務施設等の集積によるにぎわいの創出
  - ・子育て支援に配慮した優良な都市型住宅の整備
  - ・地域向け情報発信機能の導入
- 防災力の向上
  - ・災害情報等の提供
  - ・帰宅困難者対応スペースの確保
  - ・防災備蓄庫等の災害対応
- 環境への配慮
  - ・にぎわい景観に配慮した緑化空間整備
  - ・建物における省エネルギー等の配慮
- 都市基盤施設の整備
  - ・地区内の道路整備
  - ・駅前広場を補完する広場空間の整備（広場状空地、屋内型広場等の整備）
  - ・ペDESTリアンデッキの整備、歩道状空地の整備等、歩行者空間の確保
  - ・公共的駐輪場の整備



## 小杉駅北口駅前広場

小杉駅北側の玄関口

- 駅前広場機能の拡充
- ペDESTリアンデッキの整備

# (仮称) 日本医科大学武蔵小杉開発計画の地元説明について

## 1 目的

都市計画法に定める地区計画による開発が検討されている(仮称)日本医科大学地区開発計画について、周辺住民の理解を得ることを目的として、都市計画手続きに入る前の早い段階で開発計画について市と事業者による地元説明を行い、地元の意見・要望をできる限り反映した計画をめざす。

## 2 地元説明フロー

### ・市主催説明会

#### ステップ1

#### 「小杉駅北側のまちづくりに関する説明会」

日時：平成25年12月26日(木)

内容：・小杉駅北側のまちづくりの方針、各地区の開発状況等を説明  
 ・日本医科大学地区の開発コンセプトの説明  
 ※規模など具体的内容は、事業者説明会で説明。  
 ・小杉駅北側地区のビル風対策に関する説明 など  
 ※できる限り細かく意見を把握するため、アンケートを実施



### ・学校法人日本医科大学主催説明会(市：オブザーバー)

※近隣住民の意見・要望をできる限り計画に反映していくため、説明会を複数回実施する。

#### ステップ2

#### 「(仮称) 日本医科大学武蔵小杉開発計画に関する説明会」

時期：平成26年2月12日(水)、15日(土)

内容：・開発コンセプトの説明(病院建替え、機能強化の必要性、防災への貢献など)  
 ・計画概要の説明(土地利用計画、規模など)  
 ・導入機能を中心に、住民意見・要望の聴取

時期：平成26年5月10日(土)、13日(火)

内容：・頂いた意見・要望の内容報告及び、事業者の考え方の説明



#### ステップ3

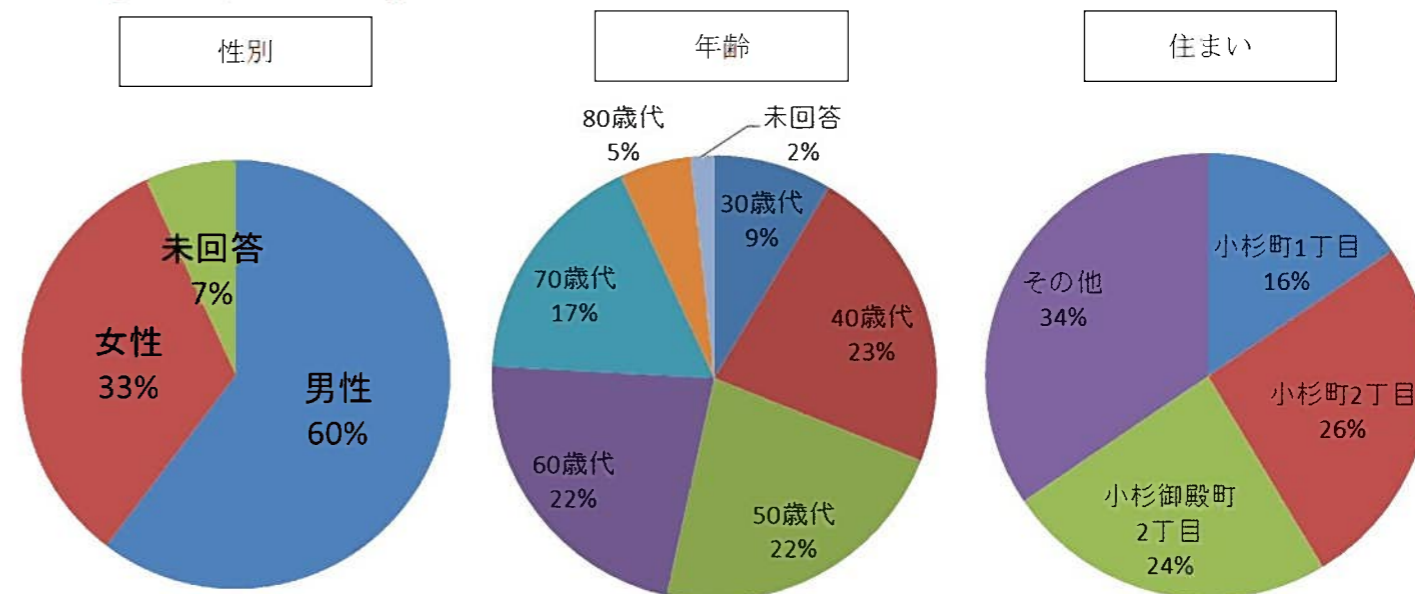
#### 「(仮称) 日本医科大学武蔵小杉開発計画に関する説明会」

時期：平成26年8月頃

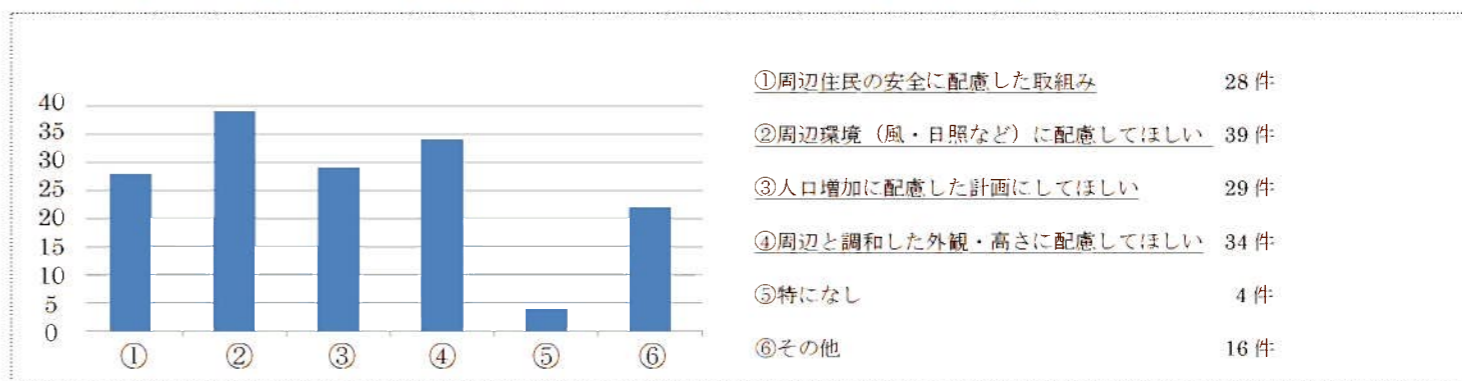
内容：・住民意見・要望の反映状況の説明

## 3 市が行ったアンケート結果について (小杉駅北側のまちづくりに関する説明会において実施)

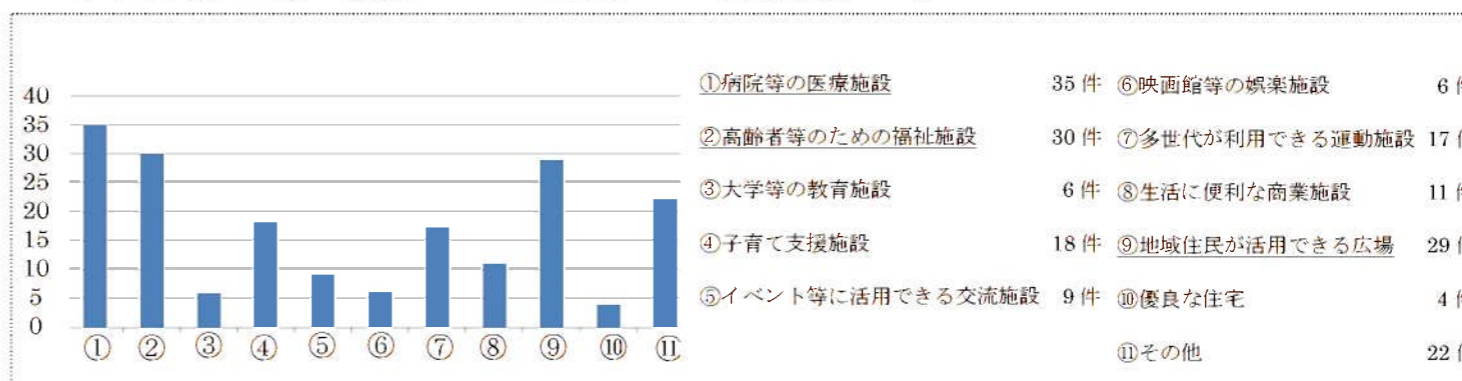
### ■回答者属性 回収58部



### ■小杉駅北側のまちづくりの方針に加え配慮することが望ましいもの 回答総数150件



### ■日医大地区の導入機能についての要望 回答総数187件



### ■その他意見の概要

- ・ビル風など周辺環境への影響
- ・人口増加への配慮
- ・ユニバーサルなまちづくりの推進 など

# (仮称) 日本医科大学武蔵小杉開発計画 計画概要 (検討案)

## ～開発の目標～

- ・医療機能を中心とした複合機能拠点の形成
- ・市街地の防災性・安全性の向上
- ・歩行者空間とオープンスペースの創出
- ・緑豊かな環境、良好な景観形成による市街地環境の向上
- ・低環境負荷・低炭素市街地の整備

## ■事業概要

事業名称：日本医科大学武蔵小杉開発計画（仮称）

### 〔A街区〕

敷地面積：約1.3ha

主要用途：小学校、広場

### 〔B街区〕

敷地面積：約1.4ha

主要用途：病院、教育施設

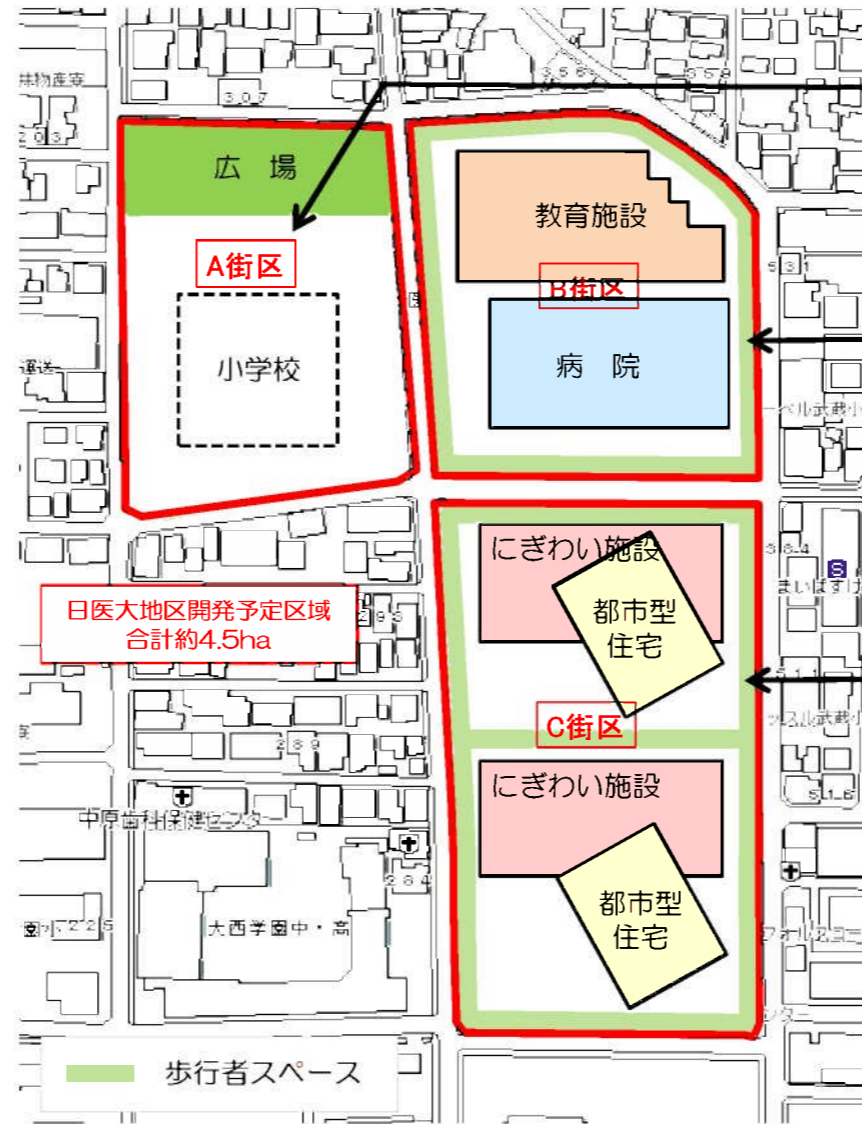
高さ：約45m

### 〔C街区〕

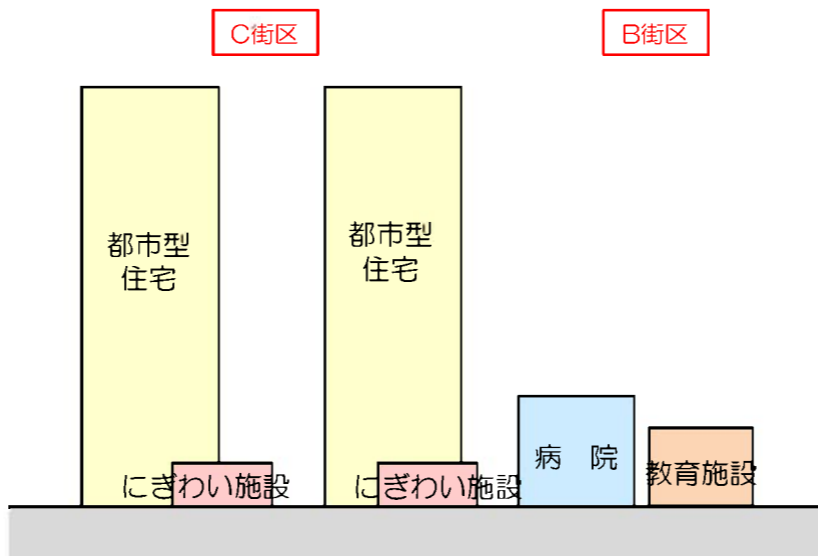
敷地面積：約2.1ha

主要用途：住宅、にぎわい施設

高さ：約180m（2棟）



断面イメージ（B街区・C街区）



### A街区

- ・市立小学校への貸地
- ・広場の整備

### B街区

- ・病院の建替えによる医療機能の更新
- ・高度医療、周産期医療、高齢者医療、小児医療、救急救命などの対応、及び認知症診断・治療機能の充実
- ・災害時の救急医療の中核となる医療施設の整備
- ・医療と連携する教育機能の導入

### C街区

- ・医療・福祉に配慮した優良な都市型住宅の整備
- ・イタイ・モールと連携した商業施設の導入
- ・広場の整備と防災機能の設置
- ・地区内の道路整備
- ・医療と連携する福祉機能等の導入
- ・等々力緑地、多摩川へ繋がる、うるおいのある緑化空間の整備
- ・歩道状空地の整備等、歩行者空間の確保
- ・建物の耐震化、空地整備による防災力の向上
- ・建物における省エネルギー等の配慮

## ■想定スケジュール

- 平成26～27年度：環境アセスメント手続き（予定）
- 平成27年度：都市計画決定（予定）
- 平成28年度：B街区着工（予定）
- 平成30年度：B街区完成（予定）
- 平成31年度：C街区着工（予定）
- 平成34年度：C街区完成（予定）

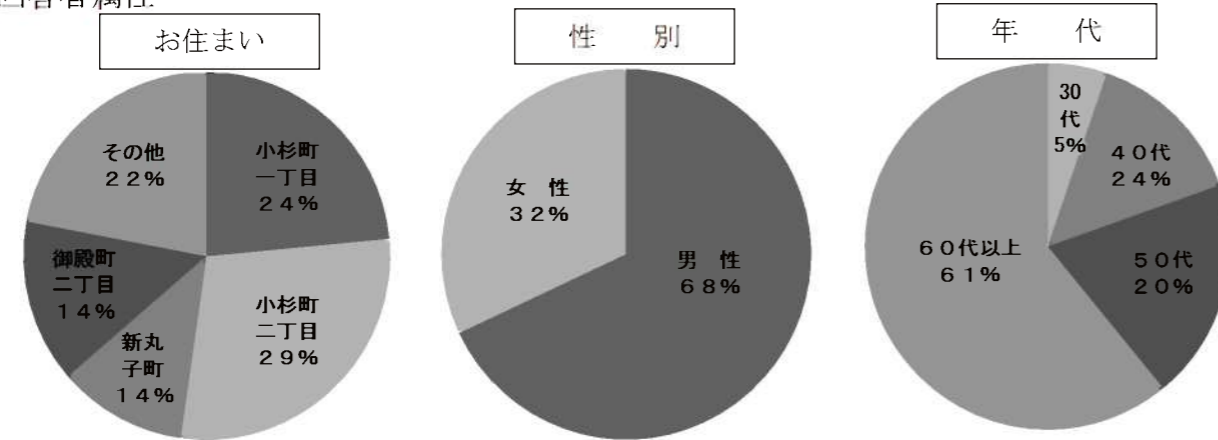
※現時点での検討案であり変更の可能性があります。



## 学校法人日本医科大学が行ったアンケート結果について

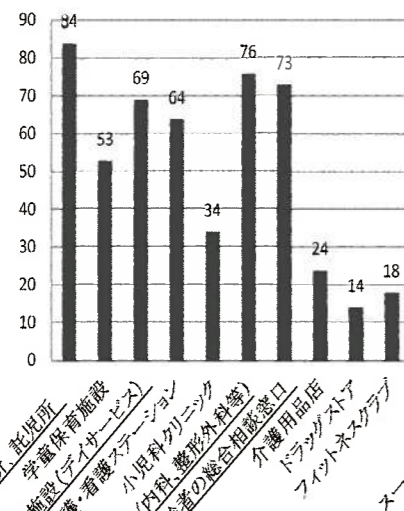
### 1 アンケートの実施について

- ◎アンケート実施主体：学校法人日本医科大学
- ◎アンケート実施日：平成26年2月12日、15日  
(学校法人日本医科大学が地元への計画概要説明会を開催した日)
- ◎アンケート配布枚数：約370部
- ◎アンケート回収枚数：156部
- ◎回答者属性

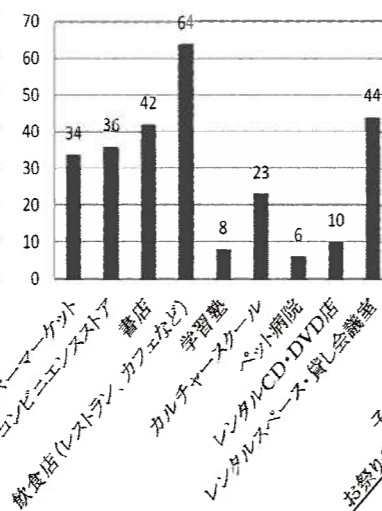


### 2 「C街区の建物低層部」に求める機能・オープンスペースに求める機能

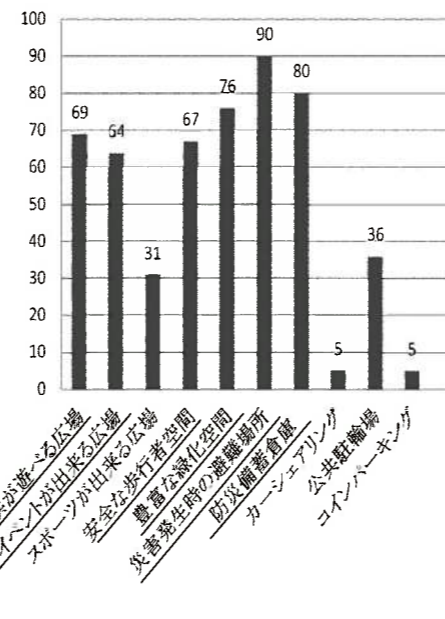
**低層部に求める機能**  
医療・福祉・健康増進施設  
回答総数: 509件  
(その他除く)



**低層部に求める機能**  
物販・飲食店舗・その他  
サービス施設  
回答総数: 267件  
(その他除く)



**建物以外のオープンスペースに求める機能**  
回答総数: 520件  
(その他除く)



### 3 自由回答の結果について

#### 【事業全体について】

- ・病院建替と、街全体の発展のために全体計画の推進は必要。
- ・都市型住宅のために、ディベに売却して、即資金回収を図る形はよくない。
- ・病院跡地は市に売却し、保育所、児童館、老人ホーム、オープンスペース等の施設を造ってほしい。
- ・事業者のさらなる利益追求の結果、周辺住民がビル風・日影・圧迫感、交通混雑等の被害を受けることは許されません。計画の見直しを求めます。

#### 【超高層建物建設について】

- ・180m 2棟は本当にこの地区に必要なのか。高くても10階建て位でよい。
- ・180mのビルは反対。もっと低くならないか。
- ・C街区のタワーはできるだけ、タワープレイス(100m)に収めてほしい。
- ・建物は低層(5階)以下に必ずすること。

#### 【都市計画について】

- ・第一種住居地域に180mの高層マンション建設を許可するのは納得いかない。
- ・都市計画では、容積率の高いところから順次低減するのが普通。なぜ600%もの容積率が許容されているのか。

#### 【環境影響(風害・日影等)について】

- ・風害対策としてどのような技術的解決策があるのか、説明してほしい。
- ・建物単体でなく、日石跡や大西学園の建物も考慮して風害や日照を検討してほしい。
- ・超高層マンションによる被害を容易に想定できます。実態調査を行って下さい。
- ・日照とビル風の影響シミュレーション結果を次回の説明会で公表すべき。

#### 【交通について】

- ・幹線道路の容量、鉄道路線のホーム容量から輸送機関のキャパシティは考慮されているか。
- ・駅と2階レベルでつながるデッキがほしい。

#### 【広場、みどりについて】

- ・公園を作ってほしい。
- ・現存している樹木を保存し、緑を豊かにする
- ・町会として盆踊り広場を是非お願いしたい。
- ・医大グラウンドが災害時の避難場所だったので、公園のようなあたたかみのある広場を設け、備蓄用品も備えてほしい。

#### 【にぎわい施設について】

- ・地域に供するものを(例えば、会議室)を用意してほしい。
- ・低価格の介護付き老人ホームを希望。
- ・高齢・介護施設が必要以上につくられることを心配している。

#### 【病院について】

- ・設備を充実した病院が建設されることは、地域住民として大歓迎です。
- ・人口増加に伴い、医療体制は充分確保される計画になっているのか。

#### 【進め方について】

- ・地元の意見を聞き、取り入れてほしい。(聞くだけで、何もしないのはダメ。)
- ・町会と連絡をとって可能な限り要望を取り入れてほしい。

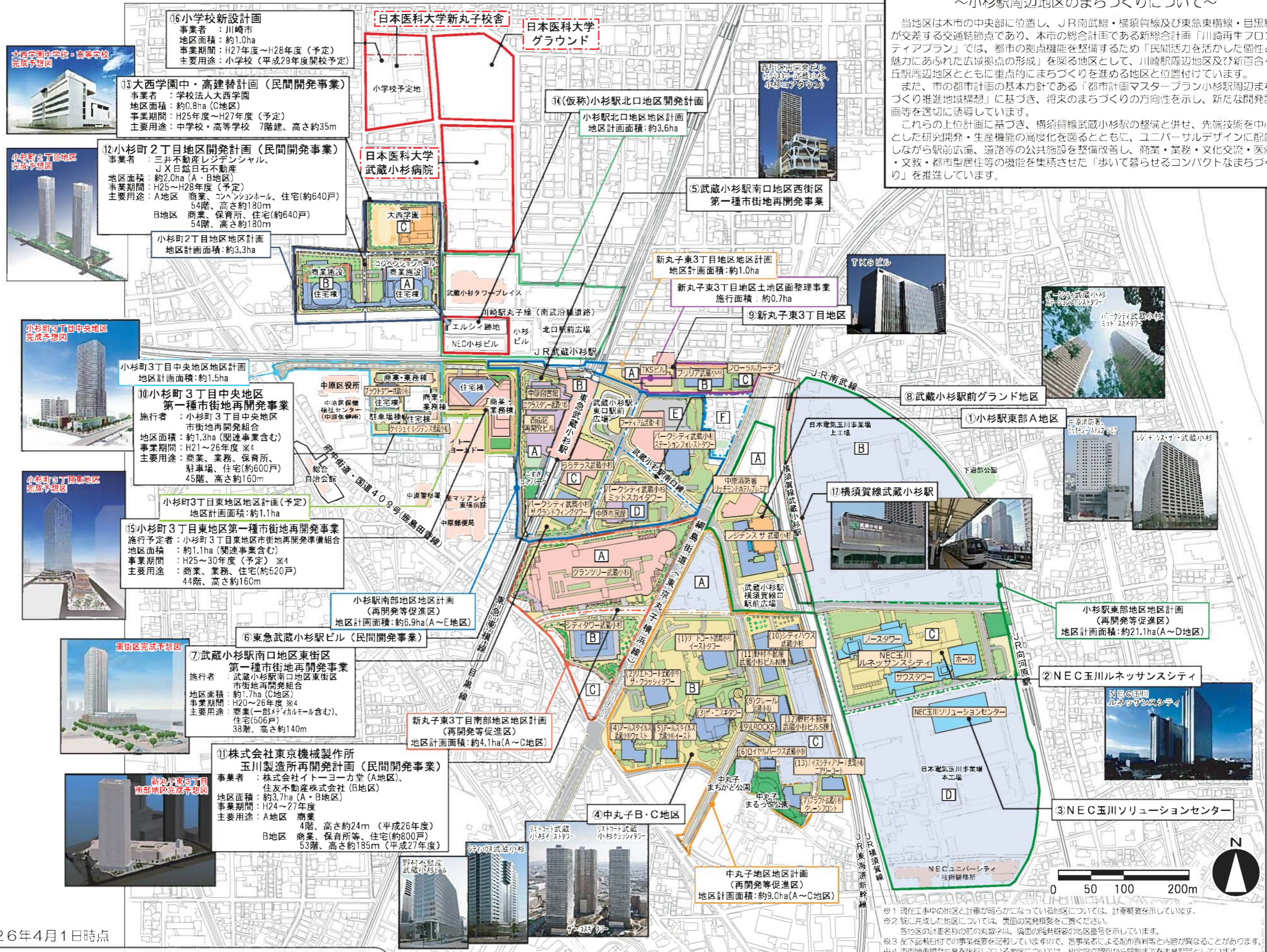
# 小杉駅周辺地区の開発動向

## ～小杉駅周辺地区のまちづくりについて～

当地区は本市の中央部に位置し、J・R南武線・横須賀線及び東急東横線・目黒線が交差する交通結節点であり、本市の総合計画である新総合計画「川崎再牛フロンティアプラン」では、都市の拠点機能を整備するため「民間活力を活かした個性と魅力にあふれた広域拠点の形成」を図る地区として、川崎駅周辺地区及び新百合ヶ丘駅周辺地区とともに重点的にまちづくりを進める地区と位置付けています。

また、市の都市計画の基本方針である「都市計画マスタープラン小杉駅周辺まちづくり推進地域構想」に基づき、将来のまちづくりの方向性を示し、新たな開発計画等を適切に誘導しています。

これらの上位計画に基づき、横須賀線武蔵小杉駅の整備と併せ、先端技術を中心とした研究開発・生産機能の高度化を図るとともに、ユニバーサルデザインに配慮しながら駅前広場、道路等の公共施設を整備改善し、商業・業務・文化交流・医療・文教・都市型居住等の機能を集積させた「歩いて暮らせるコンパクトなまちづくり」を推進しています。



**16 小学校新設計画**  
 事業者：川崎市  
 地区面積：約1.0ha  
 事業期間：H27年度～H28年度（予定）  
 主要用途：小学校（平成29年度開校予定）

**13 大西学園中・高建替計画（民間開発事業）**  
 事業者：学校法人大西学園  
 地区面積：約0.8ha（C地区）  
 事業期間：H25年度～H27年度（予定）  
 主要用途：中学校・高等学校 7階建、高さ約35m

**12 小杉町2丁目地区開発計画（民間開発事業）**  
 事業者：三井不動産レジデンシャル、J・X日産石不動産  
 地区面積：約2.0ha（A・B地区）  
 事業期間：H25～H28年度（予定）  
 主要用途：A地区 商業、コンベンションホール、住宅（約640戸）54階、高さ約180m  
 B地区 商業、保育所、住宅（約640戸）54階、高さ約180m

**10 小杉町3丁目中央地区第一種市街地再開発事業**  
 施行者：小杉町3丁目中央地区市街地再開発組合  
 地区面積：約1.3ha（関連事業含む）  
 事業期間：H21～26年度×4  
 主要用途：商業、業務、保育所、駐車場、住宅（約600戸）45階、高さ約160m

**15 小杉町3丁目東地区第一種市街地再開発事業**  
 施行予定者：小杉町3丁目東地区市街地再開発準備組合  
 地区面積：約1.1ha（関連事業含む）  
 事業期間：H25～30年度（予定）×4  
 主要用途：商業、業務、住宅（約520戸）44階、高さ約160m

**7 武蔵小杉駅南口地区東街区第一種市街地再開発事業**  
 施行者：武蔵小杉駅南口地区東街区市街地再開発組合  
 地区面積：約1.7ha（C地区）  
 事業期間：H20～26年度×4  
 主要用途：商業（一部デパート含む）、住宅（506戸）38階、高さ約140m

**11 株式会社東京機械製作所 玉川製造所再開発計画（民間開発事業）**  
 事業者：株式会社イトーヨーカ堂（A地区）、住友不動産株式会社（B地区）  
 地区面積：約3.7ha（A・B地区）  
 事業期間：H24～27年度  
 主要用途：A地区 商業 4階、高さ約24m（平成26年度）  
 B地区 商業、保育所等、住宅（約800戸）53階、高さ約185m（平成27年度）

**14 (仮称)小杉駅北口地区開発計画**  
 地区計画面積：約3.6ha

**9 新丸子東3丁目地区**  
 地区計画面積：約1.0ha

**8 武蔵小杉駅前グランド地区**  
 地区計画面積：約21.1ha（A～D地区）

**17 横須賀線武蔵小杉駅**

**2 NEC玉川ルネッサンスシティ**  
 地区計画面積：約21.1ha（A～D地区）

**3 NEC玉川ソリューションセンター**

**4 中丸子B・C地区**  
 地区計画面積：約9.0ha（A～C地区）

**10 小杉町3丁目東地区第一種市街地再開発事業**  
 地区計画面積：約1.1ha

**15 小杉町3丁目東地区第一種市街地再開発事業**  
 地区計画面積：約1.1ha

**7 武蔵小杉駅南口地区東街区第一種市街地再開発事業**  
 地区計画面積：約1.7ha

**11 株式会社東京機械製作所 玉川製造所再開発計画**  
 地区計画面積：約3.7ha

**14 (仮称)小杉駅北口地区開発計画**  
 地区計画面積：約3.6ha

**9 新丸子東3丁目地区**  
 地区計画面積：約1.0ha

**8 武蔵小杉駅前グランド地区**  
 地区計画面積：約21.1ha

**17 横須賀線武蔵小杉駅**

**5 武蔵小杉駅南口地区西街区第一種市街地再開発事業**

**10 小杉町3丁目中央地区第一種市街地再開発事業**

**15 小杉町3丁目東地区第一種市街地再開発事業**

**7 武蔵小杉駅南口地区東街区第一種市街地再開発事業**

**11 株式会社東京機械製作所 玉川製造所再開発計画**

**14 (仮称)小杉駅北口地区開発計画**

**9 新丸子東3丁目地区**

**8 武蔵小杉駅前グランド地区**

**17 横須賀線武蔵小杉駅**

**2 NEC玉川ルネッサンスシティ**

**3 NEC玉川ソリューションセンター**

**4 中丸子B・C地区**

**10 小杉町3丁目東地区第一種市街地再開発事業**

**15 小杉町3丁目東地区第一種市街地再開発事業**

**7 武蔵小杉駅南口地区東街区第一種市街地再開発事業**

**16 小学校新設計画**

**13 大西学園中・高建替計画**

**12 小杉町2丁目地区開発計画**

**10 小杉町3丁目中央地区第一種市街地再開発事業**

**15 小杉町3丁目東地区第一種市街地再開発事業**

**7 武蔵小杉駅南口地区東街区第一種市街地再開発事業**

**11 株式会社東京機械製作所 玉川製造所再開発計画**

**14 (仮称)小杉駅北口地区開発計画**

**9 新丸子東3丁目地区**

**8 武蔵小杉駅前グランド地区**

**17 横須賀線武蔵小杉駅**

**2 NEC玉川ルネッサンスシティ**

**3 NEC玉川ソリューションセンター**

**4 中丸子B・C地区**

**10 小杉町3丁目東地区第一種市街地再開発事業**

**5 武蔵小杉駅南口地区西街区第一種市街地再開発事業**

**10 小杉町3丁目中央地区第一種市街地再開発事業**

**15 小杉町3丁目東地区第一種市街地再開発事業**

**7 武蔵小杉駅南口地区東街区第一種市街地再開発事業**

**11 株式会社東京機械製作所 玉川製造所再開発計画**

**14 (仮称)小杉駅北口地区開発計画**

**9 新丸子東3丁目地区**

**8 武蔵小杉駅前グランド地区**

**17 横須賀線武蔵小杉駅**

**2 NEC玉川ルネッサンスシティ**

**3 NEC玉川ソリューションセンター**

**4 中丸子B・C地区**

**10 小杉町3丁目東地区第一種市街地再開発事業**

**15 小杉町3丁目東地区第一種市街地再開発事業**

**7 武蔵小杉駅南口地区東街区第一種市街地再開発事業**

**16 小学校新設計画**

**13 大西学園中・高建替計画**

**12 小杉町2丁目地区開発計画**

**10 小杉町3丁目中央地区第一種市街地再開発事業**

**15 小杉町3丁目東地区第一種市街地再開発事業**

**7 武蔵小杉駅南口地区東街区第一種市街地再開発事業**

**11 株式会社東京機械製作所 玉川製造所再開発計画**

**14 (仮称)小杉駅北口地区開発計画**

**9 新丸子東3丁目地区**

**8 武蔵小杉駅前グランド地区**

**17 横須賀線武蔵小杉駅**

**2 NEC玉川ルネッサンスシティ**

**3 NEC玉川ソリューションセンター**

**4 中丸子B・C地区**

**10 小杉町3丁目東地区第一種市街地再開発事業**

**5 武蔵小杉駅南口地区西街区第一種市街地再開発事業**

**10 小杉町3丁目中央地区第一種市街地再開発事業**

**15 小杉町3丁目東地区第一種市街地再開発事業**

**7 武蔵小杉駅南口地区東街区第一種市街地再開発事業**

**11 株式会社東京機械製作所 玉川製造所再開発計画**

**14 (仮称)小杉駅北口地区開発計画**

**9 新丸子東3丁目地区**

**8 武蔵小杉駅前グランド地区**

**17 横須賀線武蔵小杉駅**

**2 NEC玉川ルネッサンスシティ**

**3 NEC玉川ソリューションセンター**

**4 中丸子B・C地区**

**10 小杉町3丁目東地区第一種市街地再開発事業**

**15 小杉町3丁目東地区第一種市街地再開発事業**

**7 武蔵小杉駅南口地区東街区第一種市街地再開発事業**

平成26年4月1日時点

川崎市まちづくり局小杉駅周辺総合整備推進室 Tel:044-200-2741

※1 現在工事中の地区と計画が明らかになっている地区については、計画額を示しています。  
 ※2 既に完成した地区については、裏面の開発概要を掲載ください。  
 ※3 各地区の計画名称の前の丸数字は、裏面の開発概要の地区番号を示しています。  
 ※4 市街地再開発事業を施行している地区については、組合設立認可から確定までを事業期間としています。